

# 令和元年度事業報告書

## 全 般

令和元年度は、諸事業を概ね計画どおり実施することができたが、9月、10月には台風の直撃を受け被害が発生、2月以降の新型コロナウイルス感染拡大防止の諸施策を受け3月4日からは閉艦する等、波乱の年度であった。

総観覧者数については、6年連続20万人を超えたものの222,254名(前年度比92.2%)に留まった。

売店売上額については、55,243千円(前年度比87.9%)となった。なお、通信販売は、閉艦後も継続した。

展観態勢については、中央展示室内の改装の他、各砲室のタッチパネル式説明装置を導入し平成25(2013)年から行っていた展示の改修が一段落した。

## 1 艦の修理整備

台風による被害に緊急対応するとともに常続的な補修を行った。

また、2.3.25(水)横須賀地方総監に対し「記念艦三笠の船体保存策」(別冊「記念艦三笠の構造物の延命化に関する研究」)について佃会長から提言を行った。

### (1) 台風被害

#### ア 台風15号(令和元年房総半島台風9.9(月))

三笠公園奥の護岸が崩落したため公園が閉鎖となり予約団体のみ観覧とした。

(ア) 高波等により講堂へ右舷ドア破損部からの浸水(約7cm)、上甲板電路の漏電、防波堤内側の砂利が移動した。

(イ) 強風により最上艦橋羅針儀カバーの落下、後甲板天幕の破損及び支柱の移動、横断幕の破損、後部旗竿下のすのこが落下した。

#### イ 台風19号(令和元年東日本台風10.12(土))

朝から暴風雨となったことから当日は臨時閉艦とした。

(ア) 高波により防波堤内側の砂利が移動した。

(イ) 強風により後甲板天幕の破損、支柱が移動及び屈曲した。

### (2) 官(海上自衛隊)による修理工事

#### ア 電気の部

(ア) 台風15号被害復旧工事：上甲板中部照明系統漏電復旧工事

(イ) 士官室及び下甲板の照明器具(15か所)をLEDに新替え

(ウ) 高圧受電設備定期点検

#### イ 船体の部

(ア) 台風被害復旧工事

a 講堂右舷ドア及び周辺の雨漏りの補修

b 講堂右舷空調機の舷外配管曲がり補修

c 後部天幕支柱台座新替

- (イ) 後部右舷木甲板、甲板ウォーターウェイ側面等補修
  - (ウ) 左舷 12 番砲室後の昇降階段の補修
  - (エ) 水道管補修：蛇口から下甲板給湯室及び同所から中甲板中間弁の間新替え
  - (オ) 講堂右舷空調機新替え
  - (カ) 前部カッター新替え
  - (キ) 第 2 ビデオ室床浸水部の補修
  - (ク) 船体塗装の PCB 含有調査
  - (ケ) 船体塗装の剥離材適合調査
  - (コ) 左舷後部のベンチレーター補修
- (3) 保存会による整備
- ア 台風被害復旧工事
    - (ア) 前部最上艦橋羅針盤カバー破損補修（業者整備）
    - (イ) 講堂に浸水した海水の排水及び講堂右舷ドア破口の封鎖（業者整備）
    - (ウ) 消火ポンプ起動ボタン交換（業者整備）
    - (エ) 後部天幕補修（職員）
  - イ ボートデッキ排水管補修（業者整備）
  - ウ 男子便所小便器水洗センサー・女子便所手洗センサー1ヶ所新替（業者整備）
  - エ 消防用設備等点検及び同点検結果の消防署報告（業者整備）
  - オ 長官公室出入り口のバリアフリー用渡し板補修（業者整備）
  - カ 少量危険物保管庫火災検知器改修工事及び消防署検査（業者整備）
  - キ 中甲板通路部清掃（5月、12月及び3月）（業者整備）
  - ク 事務機器老朽更新（PC等）（業者整備）
  - ケ LAN配線を増設（講堂）（業者整備）
  - コ 主砲、副砲、外舷及びボートデッキ等各所の塗装（シルバー人材センター）
  - サ 木甲板の補修（職員、シルバー人材センター）
- (4) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備
- ア 第 2 術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃及び真鍮磨き等の奉仕作業  
計 11 回（延べ 225 名）
  - イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族等による上甲板  
全面洗浄及び艦周辺除草奉仕作業
    - (ア) 5.15(土)約 250 名
    - (イ) 8.24(土)約 250 名
  - ウ その他
    - (ア) 6.30(日)はたかぜ後援会 10 名(艦周辺の除草)
    - (イ) 11.17(日)はたかぜ後援会 12 名(艦周辺の除草)

## 2 展観態勢

### (1) 資料の寄贈等

- ア 4.22(月) 東郷元帥書「天與至誠」東京都新宿区在住の荒井勇様より寄贈
- イ 10.8(火) 前部揚錨機指示盤 横須賀市在住の幸嶋満里子様より寄贈
- ウ 12.14(土) 東郷元帥立像 東京都小平市在住の為本正昭様より寄贈

(2) 資料の整備等

- ア 主砲模型の製作（阿部源市評議員に依頼）
- イ 補助砲（1, 2, 4, 5, 10 番）の整備
- ウ 上甲板オリジナル甲板（チーク材部）補修
- エ 前部司令塔整備
- オ 艦首飾り修復
- カ 展示説明パネル作成・新替
- キ 「水雷艇夜戦の図」「日本海海戦の図(2件)」艦内展示のため複製作成
- ク 日露戦争時代の六六艦隊展示のため関係艦船模型（日進、春日を含む）14 隻を作成

(3) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借 受)	個人 (寄託)	元年度 受入 (所蔵品)	合計
勲章	56	0	12	0	68
武器	64	0	3	0	67
絵画	82	5	8	0	95
印刷 書	160	11	2	0	173
被服	187	52	40	1	280
写真	86	0	9	0	95
証紙	307	195	9	0	511
旗布	112	0	5	0	117
工作	15	0	3	0	18
陶器	125	21	12	1	159
彫刻	19	0	4	0	23
模型	22	0	1	1	24
計器	22	9	37	1	69
録音	19	0	3	0	22
図書	28	0	0	0	28
展示物品	79	0	2	0	81
合計	0	8	0	0	8
合計	1,383	301	150	4	1,838

(4) 資料の貸出

- ア 5.28(火)～10.4(金)「水雷艇夜戦の図」貸出（「松方コレクション展」国立西洋美術館展示）
- イ 2.6(木)～約1年の予定 東郷元帥「硯箱・硯等一式、印章、手帳」、「金子堅太郎書掛け軸」貸出（「坂の上の雲の人々展」坂の上の雲ミュージアム展示）

(5) 展示のIT化

タッチパネル方式の説明装置の増設

- ア 世界情勢:列強の植民地獲得(14 番砲室)
- イ 近代日本の建設と日清戦争(10 番砲室)

- ウ 日本の海軍(8 番砲室)
- エ 日露戦争(一部改修：6 番砲室)
- オ 日露戦争後の世界と日本(一部改修：5 番砲室)
- (6) 「三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション」  
日露戦争時の艦船模型(購入予定数:84 隻)のうち、4 隻(音羽、信濃丸、高千穂、浪速)(累計:23 隻)を購入した。
- (7) その他
  - ア 銃砲刀剣類の一斉検査を横須賀警察署にて受検
  - イ ハンドレール、ラッタル等危険場所のピクトグラム付注意書き(英語表記を含む)ボード設置
  - ウ 空調設備増設(5, 6, 7, 8, 10, 13, 14 番砲室(各 1 台)及び中甲板の講堂後フロア、三大記念艦前フロア、士官室前区画(各 2 台))
  - エ 中央展示室ショーケース内照明新替、クロス張替え、説明盤の新替
  - オ 中央展示室フロアマット敷設
  - カ 艦隊コレクション照明新設
  - キ 操舵室、前後部海図室ライトアップタイマー設置

### 3 主催行事

#### (1) 日本海海戦 114 周年記念行事

5. 27(月)13 時 30 分から三笠講堂において、上地横須賀市長、渡邊横須賀地方総監、糟井自衛艦隊司令官、ピッツ米海軍第 7 艦隊潜水艦部隊司令官はじめ内外多数のご来賓及び三笠会員の皆様の出席をいただき、「記念式典」を厳粛かつ盛大に挙行した。式典に引き続き行われた横須賀音楽隊による「艦上演奏会」及び「艦上祝宴」とともに大盛況であった。また、式典開始前には、裏千家淡交会横須賀支部のご協力による呈茶も行われ、多くの方が楽しまれた。式典参加のご来賓及び三笠会員の内訳は次のとおり。

区 分	出席者数	区 分	出席者数
議員等	24	友好団体	35
自衛隊部隊指揮官等	28	個人支援者	9
外国武官、米海軍指揮官等	5	三笠保存会評議員、理事等	32
ご係累	25	三笠保存会会員	285
国、県、市職員等	24	合 計	457

#### (2) 三笠こどもミュージアム

7. 13 (土)～8. 25 (日)の間、夏休み企画「三笠こどもミュージアム」を開催し、盛況のうちに終了した。主要なイベントは以下のとおり。

- ア 三笠こどもノート(中学生以下限定)の配布(毎日)
- イ 三笠スタンプラリー(中学生以下限定)の実施(毎日)

幼 児	小学生	中学生	合計	前年度比
1, 071	2, 793	615	4, 479	116. 5%

- ウ 軍服着用記念撮影コーナー(土日祝日及びお盆の週)
- エ ハンモック体験コーナー(土日祝日及びお盆の週)

オ みかさ工作ルーム（みかさうちわ、みかさコースターの塗り絵）

設置場所を下甲板から7番砲室に変更した。場所の利便性が向上したため利用者の増加が、うちわの使用数の増加（約1000→約2800）から認められる。

カ 掲揚軍艦旗等プレゼント。応募状況は以下のとおり。当選者各旗1名

軍艦旗	Z 旗	大将旗	合計	前年度比
349	242	164	755	87.5%

キ 8.4(日)海上自衛隊横須賀音楽隊艦上演奏会は、熱中症予防の観点から講堂で開催した。参加者約250名

(3) 「第56回船の模型コンクール」

横須賀市内の小学校26校から605点の出品があり、9.3(火)に横須賀市教育委員会指導主事による審査により金賞から努力賞まで65点が選考された。同作品展を9.7(土)～10.9(水)まで下甲板において開催し、前年度より多い986名の関係者が来艦した。9.14講堂にて受賞者に対する表彰式を開催した。

なお、金賞作品(6点)は中甲板右舷通路に展示している。

(4) 「子供たちのプラモデル教室」

10.26(土)士官居住区でプロモデラー長谷川伸二氏を講師に迎え、株式会社ハセガワ殿によりプラモデルの提供を得て開催し、子供13名と保護者12名が参加した。

(5) 講談「東郷平八郎物語」

11.10(日)講談師若林鶴雲氏による講談を講堂にて行い約60名が参加した。

(6) 「お正月イベント」

正月三が日は「お正月は三笠でパワーを！」をスローガンに次のイベントを開催し、3,107名の観覧者が訪れた。

ア パワースポット（三笠神社、三笠最上艦橋）巡り

イ 日本海海戦で活躍した高名な海軍軍人のスタンプラリーとその終了者による景品抽選会

ウ 軍服着用記念撮影コーナー

エ 甘酒サービスコーナー

オ 掲揚軍艦旗等プレゼント。応募状況は以下のとおり。当選者各旗1名

軍艦旗	Z 旗	大将旗	合計	前年度比
84	44	94	222	126.9%

(7) 「書初め大会」

1.4(土)下甲板において横須賀市内の小学校から28名の子供たちが参加し、課題の作品を書き上げた。同日、横須賀市教育委員会指導主事の審査により金賞から努力賞まで選考され、午後に講堂にて表彰式を開催した。作品は1.5(日)から1.15(水)の間、艦内に展示した。

(8) 「新春凧あげ教室」

1.5(日)三笠公園を管理する西部パートナーズとの共催で、正月の風物詩である「凧あげ」に親しんでもらうため「日本凧の会」の協力を得て開催した。午前中は、下甲板において自分たちで書いたオリジナルの絵を持ち込んで和凧作りを行い、午後からは三笠公園内の広場で「凧あげ」に挑戦し、19名が参加した。

#### 4 協賛行事

(1) 「軍事史学会」

4.13(土)軍事史学会例会に協賛し、第2海堡の歴史に関する講演が講堂にて開催された。

(2) 「World of Warship×アズールレーン コラボ展」

4.6(土)～5.26(日)の間、5番及び7番砲室にて同企画展に協賛した。また、オープニングイベントとしてトークイベントが4.6(土)講堂にて開催された。

(3) 2019 よこすかカレーフェスティバル

5.18(土)、5.19(日)の2日間、三笠公園において開催され、同行事に協賛し、観覧料を一律300円(中学生以下は無料)とした。「スタンプラリー」等の子供向けイベントを実施し、三笠の有料観覧者数は6,218名(前年度比:109%)であった。

(4) よこすかYYのりものフェスタ

6.8(土)及び6.9(日)の2日間、ヴェルニー公園会場等及び三笠公園(2019年特別会場)において開催され、同イベントに協賛し、観覧料を一律300円(中学生以下は無料)とした。両日とも雨となり有料観覧者数は3,037名(前回H28年度比66.6%)であった。

(5) 「三笠艦記念第11回スポーツひのまるキッズ 関東小学生柔道大会」

6.9(日)に関東の都県を中心に北海道から岡山までの小学生柔道選手約600人が参加し、横須賀市総合体育館で開催された。同行事に協賛し、参加賞等を提供するとともに荒川理事長、中塚事務局長が大会を観戦した。

(6) 「ひつじのショー横浜横須賀サイクルスタンプラリー」

H31.3.1(金)～6.9(日)の間、同スタンプラリーに協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置し、押印のみの入艦を許可した。

(7) 横須賀流灯会(灯籠流しの会)

7.16(火)に三笠公園内で実施された同行事に協賛した。悪天の為、読経を講堂で行うこととなりお見送り家族約400名が参加した。

(8) ラジオ日本 神奈川レジャースポットスタンプラリー

4.20(土)～7.31(水)の間、同スタンプラリーに協賛し、観覧料を一般100円割引とした。スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置し、押印のみの入艦を許可した。

(9) 令和元年度横須賀夏期防衛講座

8.24(土)同講座共催団体として講演会場として講堂を提供した。阿川尚之同志社大学客員教授による「憲法から見たアメリカの戦争」のテーマで講演が行われ、主要来艦者は、共催団体長の他、香月防大副校長、渡邊横総監、湯浅護衛艦隊司令官でした。(参加者約250名)

(10) よこすか開国花火大会

8.4(土) 同行事に協賛して上甲板を開放し、主催者招待者(214名)及び三笠保存会招待者(389名)合わせて603名が乗艦され花火を鑑賞した。

- (11) 横須賀カルタ大会と日本海海戦立役者の末裔が語る日露戦争トークショー  
8.25(日)地域の文化や歴史を題材に地域の活性化を目的に製作された「横須賀カルタ」を手掛けた横須賀カルタ制作実行委員会主催の同行事に協賛した。午前  
は横須賀カルタを楽しむ催しが下甲板にて開催(参加者約30名)され、午後は東  
郷平八郎と山本権兵衛の末裔(東郷宏重氏と山本盛隆氏)による当時の歴史を振  
り返るトークショーと演奏会が講堂にて行われた。(参加者約120名)
- (12) 青年会議所神奈川ブロック大会  
9.7(土)横須賀青年会議所が担当する同行事が三笠公園で行われるに当たりゲ  
ストの控室等として協力した。
- (13) 宮嶋茂樹氏写真展「THE CADETS(防衛大学校の日々)」  
9.7(土)～10.3(木)の間、宮嶋茂樹氏写真展を7番砲室にて開催した。
- (14) 自衛隊入隊予定者激励会  
9.18(水)神奈川地方協力本部横須賀事務所が主催する同行事が士官室にて開  
催された。
- (15) 県博物館協会防災訓練  
9.26(木)神奈川県博物館協会が主催する防災訓練(遠隔情報伝達訓練)に参加し  
た。
- (16) クラシックカーラリー2019  
9.28(土)、9.29(日)、同行事に協賛し、0730から観覧状況とした他、講堂及び  
下甲板の部屋を参加者及びスタッフに提供した。
- (17) Yokosuka 海道ウォーク  
10.5(土)横須賀海道ウォーク実行委員会主催の同イベントに協賛し、イベント  
参加者の観覧料を割引(一般、高校生100円引き)した。また、参加者への賞品  
を提供した。
- (18) よこすか海洋シンポジウム2019  
10.5(土)同イベントに協賛し、テーマ「横須賀と鯨 もっと鯨を知ろう！」の  
シンポジウムに講演会場として講堂を提供した。(参加者約100名)
- (19) 日本遺産WEEK関連行事  
10.5(土)～10.14(月)の間、「日本遺産パネル・写真展(ストラーク久美子氏)」  
の会場として、7番砲室を提供した。  
11.9(土)～11.17(日)の間、松山市「道後温泉の足湯」の会場として上甲板右舷  
ボートデッキ下を提供した。
- (20) サイバーワークショップ協力  
サイバーワークショップはNATOのサイバー防衛研究センター(エストニア)が  
主催するサイバーデフェンスに関する国際会議で、関連機関・軍・大学などが参  
加している。10.11(金)同会議の参加者がYRP(横須賀リサーチパーク)での会  
議後に来艦し(30名)艦内案内の後、横須賀市長も参加された懇親夕食会(下甲  
板)に協力した。
- (21) 「キッズウィーク割」  
10.19(土)～11.11(月)の間、同企画に協賛し、横須賀市民(一般・シニア)が子  
供同伴の場合は観覧料を300円とした。

- (22) 「国旗のある自由画入選作品展」  
11. 8(金)～11. 27(水)の間、国旗協会の作品展に協賛し、第2ビデオ室に入選作品21点を展示した。
- (23) 横浜Fマリノス優勝応援  
12. 4(水)～12. 13(金)及び 12. 15(日)～12. 27(金)の間、同関連行事に協賛し、三笠の夜間照明をマリノスカラーであるトリコロールカラーに変更してライトアップした。
- (24) 「劇場版ハイスクール・フリート」イルミネーション点灯式  
12. 14(土)ハイフリ劇場版が放映されるのに合わせて、主題歌を歌うTrySail(3名の女性声優)が出演し公園(舷門下付近)でトークショーを行う企画に協賛し、三笠の夜間照明をTrySailのイメージカラーに変更してライトアップした。  
なお、協力業者によるドローン撮影を実施した。
- (25) 「劇場版ハイスクール・フリート」  
1. 12(日)ハイフリ劇場版の放映に合わせて試写会及び声優等によるトークショーの会場として講堂を提供した。(参加者約300名)  
1. 12(月)～3. 31(火)の間、「横須賀を盛り上げよう!デジタルスタンプラリー」に協賛しスタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置した。ただし、3. 4(水)閉艦にともない艦外の掲示板に設置された。
- (26) 海洋少年団「海の教室」  
1. 18(土)横須賀海洋少年団が主催する「海の教室」に協賛し、『沖合いを行き交う船の観察会』、『手旗信号体験』・『ロープワーク体験』の後、記念艦三笠をくまなく見学する『三笠ガイドツアー』に協力した。(参加者5家族13名)
- (27) チャリティークラシックコンサート  
1. 19(日)一般財団法人シティサポートよこすかが主催する横須賀に所縁のある第一線で活躍中のプロの演奏家を迎えた講堂での初めてのクラシックコンサートに協賛した。来艦者が少ない冬季に記念艦「三笠」を周知し、地域における芸術・文化の振興を図る目的であったが約300名以上の方が鑑賞された。
- (28) 「カイジファイナルゲーム」展  
1. 12(日)～3. 1(日)の間、横須賀集客促進実行委員会(横須賀市観光課)が主催する、横須賀市生まれで、「三笠」が思い出のスポットと話されている漫画家福本伸行氏の人気漫画「カイジ」の実写映画の公開に合わせた企画展に協力した。映画場面のパネルや使用された小道具などの展示に7, 9番砲室を提供した。
- (29) 「横須賀市民割」  
2. 1(土)～2. 29(土)の間、横須賀商工会議所主催の「横須賀市民割」に協賛し、横須賀市民、三浦市民、逗子市民、葉山町民などの一般、シニア観覧料を300円とした。
- (30) ドル街\$横須賀  
H30(2018)7. 30(月)～2. 3. 31(日)横須賀市集客促進実行委員会主催の同イベント(横須賀市内の飲食店等でUSドルが使用できる。)に協賛し、観覧料のUSドル使用に対応した。  
11. 3(土)～3. 31(日)の間、関連行事として「スカジャン割」に応じ、スカジャン着



用者は観覧料を 300 円とした。

(31) 横須賀サイクリング完走証 Vol. 2

1. 8. 1 (木) から 2. 3. 15 (日) の間、「横須賀サイクリング完走証でスカジャン サイクルジャージを当てよう！」に協賛し、スタンプラリーのラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置した。3. 4(水)より閉艦のため公園事務所に移設した。

(32) 「海軍さんの港まちスタンプラリー」

H30(2018)9. 23(日)～2021. 2. 12(金)の間、「日本遺産「鎮守府」をめぐるスタンプラリー」に協賛し、スタンプラリーポイントとして舷門入口にスタンプ台を設置中である。3. 4(水)より閉艦のため公園事務所に移設した。

## 5 広 報

(1) 広報資料の配布

4月：前年度団体来艦者が多かった1都2府16県の旅行者(10,329社)にパンフレットを送付した。

(2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に三笠観覧中の希望者に艦内ガイドツアーを540回(5回/日、延べ15,094名)実施した。

(3) 看板等の設置

ア 京急横須賀中央駅にて三笠観覧案内(ナビタ)を掲出中である。

イ 夏の「こどもミュージアム」、冬の「お正月イベント」のポスターを横須賀市内の京急及びJRの駅に掲示した。

(4) SNS広報

フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、トリップアドバイザーなどでの情報発信を行っている。国内外多数の旅行者が参照する世界最大の口コミサイトであるトリップアドバイザーでは横須賀市の観光スポット144か所中1位の高評価を引き続き得ている。

(5) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者(約300名)に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

(6) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第32号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(7) 観光事業者等との交流

1. 23(木)横須賀市観光協会主催の商談会に総務部長及び広報課長が参加し、集客広報活動を行った。

(8) 雑誌による広報

ア 「歴史街道」に2年間計12回(隔月掲載)の三笠の特集記事を掲載中であり、今年度は6回実施した。

イ 「MAMOR」に年6回(11月掲載開始)の三笠の広告を掲載中であり、今年度は2回実施した。

(9) 観艦式関連行事における三笠の広報のため、横監広報班にパンフレット5000部

の配布を依頼した。(観艦式は災害派遣のため中止)

(10) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力

協 力 先	協 力 内 容
ラジオ日本	レジャースポット情報
TBSテレビ	「じょんのび日本遺産」
NHK-B S	「偉人たちの健康診断」
福島中央テレビ	「幻の空母兵士の記憶」
テレビ神奈川	「おとな釣り倶楽部TV横須賀版」
テレビ東京	「アド街ック天国」
JCOM	「日本遺産写真展」「Yokosuka ほっとナビ」
チバテレビ	「ガレッジセールのアリタレドコ旅」
TBSスパークル	「関口宏のもう一度！近現代史」

イ 雑誌等への協力

協 力 先	協 力 内 容
JTBパブリッシング	るるぶ観光データベースの更新
(株)PHP研究所	「歴史街道」
日立ドキュメントソリューションズ	広報誌「はいたつく」掲載記事
産経新聞	WEB記事「日本海海戦114周年記念式典」
(株)三栄	「GENROQ」
タウンニュース	タウンニュース横須賀版 三笠関連
ソウエルクラブ	福祉業界雑誌記事
月刊誌Light of Life	「きみは戦艦三笠を知っていますか？」企画掲載
(社)日本産業機械工業会	「三六式無線電信機の紹介」記事

(11) 実習等への協力

ア 高校生インターンシップ協力

8.22(木)桐蔭学園高校生3名に対し神奈川新聞が主催する同行事に協力した。

イ 大学生の博物館実習

8.26(月)～8.30(金)の間、東京農業大学、法政大学から各1名の実習希望者に対し、記念艦「三笠」での資料の収集、保管、展示等の博物館業務及び公益財団法人業務に関する実習に協力した。

ウ 中学生の職場体験学習受入れ

11.6(水)～11.8(金)の間、横須賀市立大矢部中学校、常葉中学校2年生各2名、合計4名の職場体験学習に協力し、金物磨き及び観覧者対応を体験させ、働くことの意義や喜び等を実感させた。

エ 中学生の職場体験学習協力

11.6(水)横須賀市観光課と横須賀市観光協会において職場体験学習中の大矢部中学校4名に協力した。

オ 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計 10 回協力した。

(12) 観光会社等のガイド研修への協力

観光会社、バス会社等のガイド、三笠ガイド協会等の研修に協力した。

(13) 横須賀市観覧依頼

横須賀市役所各課からの観覧依頼に応じて、無料観覧を許可するとともに希望により案内を実施した。(25 回 227 名)

6 観覧者数等

(1) 観覧者数

無料観覧者を含めた観覧者数は 222, 254 人(前年度比 92. 2%)であった。

なお、閉艦前の 2 月末までの観覧者数は 221, 387 人(前年度比 100. 5%)である。

今年度 10 万人目(8. 7(水))、20 万人目(1. 8(水))に認定セレモニーを開催した。

月別	令和元年度	前年度比 (%)	平成 30 年度
	有料観覧人員		有料観覧人員
4	21, 558	110. 4%	19, 525
5	32, 956	114. 5%	28, 779
6	19, 630	109. 2%	17, 983
7	13, 963	98. 9%	14, 123
8	21, 492	99. 0%	21, 706
9	18, 633	91. 5%	20, 359
10	16, 938	76. 6%	22, 112
11	21, 598	102. 1%	21, 158
12	9, 737	107. 2%	9, 085
1	12, 220	97. 1%	12, 589
2	11, 351	93. 7%	12, 115
3	769	4. 3%	18, 053
有料計	200, 845	92. 3%	217, 587
無料計	21, 409	91. 5%	23, 410
総計	222, 254	92. 2%	240, 997

(2) 団体観覧者

ア 団体観覧者数 45, 509 名(前年度比 : 79. 0%)

イ 団体観覧者数上位都府県 ※ ○内数字は前年度の順位

順位	都府県	延人員(前年度比)	順位	都府県	延人員(前年度比)
1	東京①	16, 578(76. 0%)	6	茨城④	2, 040(61. 2%)
2	神奈川②	4, 520(80. 4%)	7	山梨⑩	959(72. 8%)
3	埼玉③	2, 954(81. 9%)	8	群馬⑧	935(50. 5%)
4	千葉⑥	2, 760(97. 9%)	9	栃木⑨	864(61. 8%)

5	静岡⑤	2,632(89.4%)	10	愛知⑫	767(72.3%)
---	-----	--------------	----	-----	------------

(3) 観覧料収入

観覧料収入は104,090千円(前年度比93.3%)となった。

(4) 主要来艦者

4月	ブルガリア共和国国防副大臣 アタナス・ザプリャノフ退役中将、駐日ブルガリア共和国特命全権大使 ボリスラフ・コストフ 他4名 モロッコ軍王立高級幹部学校長 オマール・エル・ウアドウディ少将 以下モロッコ指揮幕僚課程学生団70名
6月	外務省アジア大洋州局地域政策参事官他1名 インドネシア国防大学学生28名講師5名
7月	インド海軍政策情報部長アチュール・アナンド少将他8名
8月	法政大学 歴史学教授 金山先生他1名
9月	スリランカ国防大学指揮幕僚課程学生16名、随内局2名
10月	インド海軍東部艦隊司令官スラジ・デリー少将他6名
11月	ロシア海軍総司令官 海軍大将 ニコライ・エフメノフ大将他5名、随内 横総監、海幕総務部長
12月	英王立国際問題研究所(チャタムハウス) 上級研究員ハンス・クンナニ氏、随内 海幕防衛課能力評価・分析室長 カナダ海軍 副司令官 サザランド少将他2名、随内 防衛班長、通訳他1名 横須賀教育隊司令 加藤1佐(表敬) 横須賀地方総監部管理部長 松浦1佐(離任挨拶) 横須賀地方総監 渡邊海将(離任挨拶) 加藤友三郎元帥研究会 会長大之木氏、杉本元海幕長 国土交通省関東地方整備局4名 随内 田中副市長他8名
1月	横須賀地方総監 杉本海将(着任挨拶) 横須賀地方総監部管理部長 堀1佐(着任挨拶) アーティスト井上文太氏他2名 随内 田中副市長他3名
3月	「加藤友三郎元帥」銅像建立の発起人大之木氏、杉本元海幕長、松下元自艦隊司令官

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の12部隊等の隊員・職員(延べ1,423名)が研修のため来艦した。

7 会 員

(1) 会員数

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		元年度	30年度	元年度	30年度
個人 会員	通常会員	92	104	806	809
	終身会員	56	53	2,361	2,364
	維持会員	10	16	185	181
	小計	158	173	3,352	3,354
法	通常会員	0	0	55	59

人 会 員	終身会員	0	0	24	24
	維持会員	1	0	17	16
	小 計	1	0	96	99
合 計		159	173	3,448	3,453

(2) 月別会費収入 (単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
元年度	612	460	382	1,152	214	112	231	214	244	216	246	290	4,373
30年度	544	212	345	300	382	221	164	342	243	236	328	476	3,793

(3) 会員対策

- ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2回実施した。
- イ 海自各地方総監部管理部長及び基地業務隊司令へ入会案内の書類を送付し退職隊員への入会勧誘を依頼した。
- ウ 8月会員管理システムを更新した。
- エ 会員へ来艦者増及び入会会員増を目的として会員優待券を配布した。

8 運 営

(1) 会 議

- 5.31(木)第29回運営委員会
- 6.6(木)第16回理事会
- 6.21(金)第16回評議員会
- 9.19(木)第30回運営委員会
- 11.21(木)第31回運営委員会
- 1.16(木)第32回運営委員会
- 3.12(木)第17回理事会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略)
- 3.25(水)第17回評議員会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため決議の省略)

(2) 理事等の交代

6.21(金)付で次の理事等が就(退)任しました。

	退(辞)任	就 任
理 事	長谷川 茂	伊東 聡
理 事	泉谷 翔	大黒 健司

(3) 規則の改定

10.1(火)神奈川県での最低賃金が1時間1,111円とされた。三笠保存会給与支給規則別表「基本給表」の最低等級最低号俸額(4等級1号俸:152,000円)が最低賃金を下回るため、これを153,000円(1,000円増額)とし、これに倣って「基本給表」各等級各号俸額を1,000円増額し全部を改正した。

(4) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	採 用 (年月)	退 職 (年月)
総務部長	佐藤 文雄(1.6)	田村 博義(1.6)

広報課長	福原 祐二 (1.6)	塚田 眞二(1.6)
------	-------------	------------

イ 元年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用職員	パート	計
6 ※1	6	5 ※5	17 ※6

注：※印は女子職員を示し、内数である。

(5) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

ア 東郷神社の春・秋例大祭等

イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事

(6) 職員の教育・研修

ア 9.20(金)救急救命講習（横須賀市消防局）保安係が受講した。

イ 9.25(水)危険物取扱者保安講習（横須賀市危険物保安協会）保安係長が受講した。

ウ 12.12(木)地震発生時及び火災発生時の初動対処、観覧者避難誘導方法を演練した。

エ 12.5(木)～18(水)の間、閉艦後、三笠の概要説明を担当する職員による説明要領の発表会を行い、技能向上と説明内容の平準化を図った。

オ 展示・接客要領等の向上を図るための他博物館への研修は、コロナウィルス感染拡大防止のため取り止めた。

(7) 新型コロナウイルス感染拡大防止

ア 艦内態勢

2. 2(日)保安係にマスク配布

2. 5(木)全職員対象にマスクを準備

2. 8(土)舷門、艦内及び売店に手指消毒剤設置

2.15(土)手指消毒剤増設

2.22(土)三笠ガイドの定時ガイドを取り止め上甲板での定点説明とした。

2.26(水)三笠ガイドの案内を取り止めた。

3. 4(水)閉艦とした。

イ 職員の勤務体制

閉艦に伴い通常の業務量も減少し、また感染予防の観点から減員態勢とした。

ウ 中止された行事等

2.23(日)第2回横須賀カルタ大会（主催：横須賀カルタ制作実行委員会）

3. 7(土)第65回海洋教育フォーラム（主催：日本船舶海洋工学会）

3.20(金)三笠こどもラジオ教室（主催：三笠保存会）

3.28(土)よこすかスプリングフェスタ（主催：横須賀市観光協会）

## 9 売店部

(1) 営業収入

元年度商品総売上高は55,243千円であり、前年度比87.9%となった。なお、閉艦前の2月末までの売上高は94.3%である。

(2) 新商品

- ア サーモステンレスボトル
- イ 2020年世界三大記念艦「三笠」カレンダー
- ウ 2020年賀はがき
- エ 海軍さんの珈琲ドロップ

(3) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売実績は、取扱件数 185 件(前年度比 99.5%)、販売金額 612 千円(前年度比 86.5%、売上金額の 1.1%)であった。

(4) 税制改正への対応

- ア 税制改正に対応レジスターを新替
- イ 在庫管理システムの導入
- ウ 10.1(火)関係する商品の価格改定を実施した。食品類は店内飲食がないため消費税 8%で変わらず価格は据え置いた。
- エ 11.26(火)軽減税率講習会参加 売店店長

(5) キャッシュレス化

- ア 9月キャッシュレス決済として新たに交通系 IC カード、QR 決済を導入した。キャッシュレス還元の影響もあり、クレジットカード利用分も増加した。

イ 実績

種 別	取扱件数(件)	販売金額(円)	備 考
クレジットカード	1,929 (前年度比 114.7%)	5,516,049 (前年度比 116.1%)	NICOS、JTB 等
交通系 IC カード	404	355,308	スイカ、パスモ等
QR 決済	182	189,957	ペイペイ、アリペイ等
合 計	2,515	6,061,314	

(6) 自販機 (第 1 ビデオ室設置) の入替

3.24(火)一般競争入札結果に基づきコカ・コーラ及びヤクルトの自販機を撤去し、アサヒ飲料の自販機を設置した。